

40歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第184号 2015年 陽春号
新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)
電話 048-483-2777
FAX 048-483-2780
ホームページ <http://www.yoshiday.com>
メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・ 県政へのご要望をお寄せ下さい！】

●1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(40才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー資格、アナリスト・経済・資格等も取得。

●2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始まって以来の3,855票でトップ当選。

●2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。2007年4月、トップにて再選。

●2011年4月、無投票にて三期目当選。現在、無所属、民主党を中心とする第二会派の

代表をつとめる。財政規律を堅持しあるべき社会保障、教育制度について議論を展開。新座市空手道連盟の会長もつとめる。

●趣味は、水泳、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今、やらずしていつできる」



いよいよ任期満了。統一地方選挙前半戦スタート

いよいよ任期満了も近づき、私自身も新たなチャレンジを行うこととなります。

初当選以来、組織や団体に頼ることなく、本当に多くの個人個人に支えられて活動を展開して参りました。そういう意味で、特定の団体や利益集団の考えに偏ることなく、多くの市民の皆様の意見に基づいて活動することが出来ました。

今回もそうした考えに基づいて、チャレンジを行って参ります。

政策的にも、目先の甘い公約ではなく、将来を見据え、しっかりと責任感のある政策を訴える考えです。少子化対策や、介護、福祉等の高齢者対策への予算を増やすと言えば聞こえは良いかもしれませんが、あれもこれも出来る財政状況ではありません。

私は、財政学会などで議論をし、地方財政については色々と持論を持っています。現実には、大型公共工事を減らして、議員定数を削減したからと言って、福祉予算を確保出来るというものでは断じてありません。

その様な甘い政策を掲げるのではなく、今回は「選択と集中」という観点で、真に必要なものは必要と、政策に優先順位を付けて提示する事を考えています。

具体的には、子育て支援、障害者福祉、高齢者福祉、この3つの政策を軸に、教育と環境、防災をテーマに公約を策定しました。ご希望の方は是非、事務所等へご一報ください。また、ホームページでも近日中に公開いたします。

また、公職選挙法が一部改正され、インターネットが解禁となりました。ネットを使っての情報公開も随時行なってゆきます。

今後も、変わらぬ初心で全力投球して参ります。

吉田芳朝

公職選挙法の規定により、選挙の事前活動が禁止されています。そのため、表現の一部にわかりづらい点があると思いますがご理解ください。また、4月3日の告示後12日の投票日までには、確認団体ピラを除き、無所属候補はピラの配布ができません。あらかじめ、ご了承ください。

吉田よしのりの一行日記!

2/13 新座駅頭、県議会議員選挙説明会

2/14 さいたま市内会議、市内地域訪問

2/15 スポーツ少年団空手道大会

2/16-17 事務所来客対応、県議会会議

2/18-19 東久留米駅頭、県議会本会議

2/20-21 県議会議案調査、後援会会議

2/22 歌謡ショー開会式、市内地域訪問

2/23 朝霞台駅頭、県議会議案調査

2/24 県議会代表質問

2/25-27 県議会一般質問、記者発表等

3/1 朝霞地区団体会合、市内地域訪問

3/2 志木駅頭、市内訪問、後援会会合

3/3 ひばりヶ丘駅頭、予算特別委員会

3/4-6 県議会常任委員会、特別委員会

3/7-8 市内地域訪問

3/9-10 新座駅頭、県議会議案調査等

3/11-12 東久留米駅頭、市役所会合ほか

3/13 県議会本会議、会派調整会議等

3/14 新座ふれあいの家、保育園開所式

3/15 ひばりヶ丘終日キャンペーン

3/16 新座団地キャンペーン、後援会会議

3/17-18 清瀬駅頭、市内地域訪問ほか

3/19 新座大江戸祭り会議ほか

3/20-22 市内地域訪問、市内支部総会

3/23 朝霞台駅頭、後援会会議ほか

15統一 地方選 直前情勢

第1部 県議選

南 18 区

定数2・新座市

4期目を目指す吉田、2期目を狙う安藤の現職2人に、共産新人の石島が挑む構図が固まってきた。

吉田は民主に近いが自民にも食い込み、上田知事と並んだポスターで勢いづく。市議時代から地元密着の姿勢は変わらず、保守層にも一層の浸

透を目指す。安藤も上田知事、国会議員と一緒のポスターを多数掲示。公明を前面に押し出し、自民不在の地で票固めに余念がない。石島は1月未だに新座市議を辞職し、早くも臨戦態勢。党のポスター掲示やあいさつ回りで着々と支持拡大を図っている。

安藤 友貴 39 公現①
石島 陽子 52 共新
吉田 芳朝 40 無現③



吉田芳朝氏

(民主・無所属、新座市)

【質問】厳しい財政状況が続く中、公共施設などの老朽化対策が大きな課題だ。総務大臣から各自治体に対し、いわゆる公共施設等総合管理計画の策定に取り組みよに要請があった。県も将来の人口減少局面を踏まえ、公共施設の在り方や老朽化対策について議論すべき。

【上田知事】県は9148棟延べ床面積で約604万平方メートルの施設を管理している。そのうち45%以上が建築後30年を超えている。県はこれまで県有資産のメンテナンスに取り組み、経

議論を 公共施設対策で

管的な視点で施設の有効活用や未利用施設の処分に努めてきた。2004年から現在まで189億円の資産を売却し、県有試算のスリム化を進めた。現在の施設をそのまま維持することを前提に、将来の維持管理更新費用を試算したところ、今後30年間で1兆7568億円の費用が必要になる。そのため「県有資産総合管理方針」を本年度中に策定する予定だ。県有資産の一層の長寿命化や維持管理コストの削減に取り組む。未利用資産や空きスペースを民間などに貸し、収入の確保を図ることも考える。活用が見込めない資産は廃止や売却の検討を進める。来年度以降は同方針に基づき、施設の利用状況や今後の利用ニーズ、劣化状況などによる詳細な施設評価を行い、施設ごとの管理計画を策定していく。

▲埼玉新聞

いよいよスタートの直前情報の記事になりました。勢いづく吉田は自民が、しっかり活動してゆきます。

▲読売新聞

2月に行われた代表質問の記事になりました。詳しくはホームページでも全文ご覧いただけます。

知事4期目出馬に含み

多選自粛条例「努めること定めた」

上田知事は24日の県議会で、知事の任期を3期12年とする多選自粛条例について、「3期を超えて在任しないよう特別な措置をとることはしない」との見解を改めて示し、4期目出馬の可能性を含みを持たせた。県議会代表質問で、自民党県議団長の小谷野五雄県議の質問に答えた。上田知事は同条例について「3期を超えて在任しないように努めることを定めたもの。任期を常に意識して県政運営に当たるといふことに尽きる」と述べた。

民主党・無所属の会代表の吉田芳朝県議の質問では、新たな政治団体「プロシエクトせんたく」の発足について問われ、「県議選で有権者の選択肢を広げていくことが重要で、政治の緊張感をつくり出すために立ち上げた。応援団長として外から応援していくこと述べた。同団体は県議会で自民党の過半数割れを目指し、「県議会改革」を旗印に30人程度を擁立する考え。

▲埼玉新聞

2月に行った代表質問のやりとりを記事にさせていただきました。公共施設の老朽化問題は今後相当な議論になると思われま